

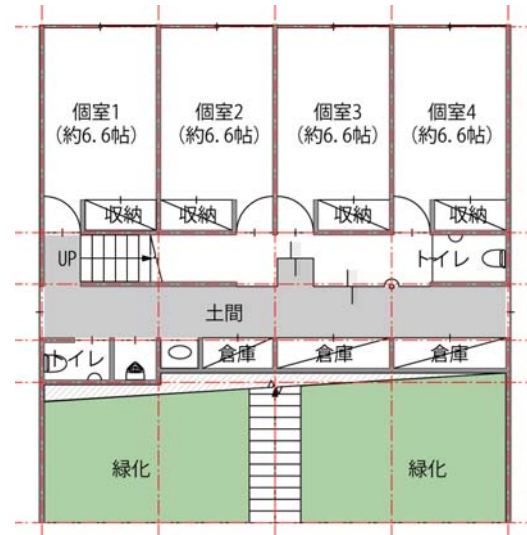
世界初のネットワーク・エコビレッジ(ゆるやかなコミュニティ)

『あさひミレニアムシティ第I期』

2010年(平成22年)春オープン予定!!

第II期、募集開始!!

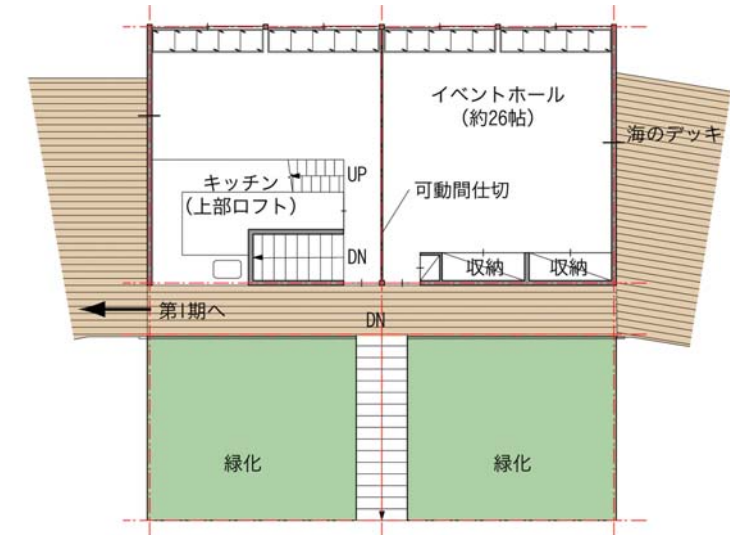
あさひミレニアムシティ第I期は、2009年8月30日の上棟式を経て、いよいよ2010年春にはオープンする予定です。そして企画大好評につき第II期目の募集を開始します。



第II期目平面図

1階平面図

第II期では、海に見える大きなイベントホール(キッチン付)が登場することで、第I期とあわせてますます多様なまちづくりにつながっていきます。



2階平面図

さらに1階には4つの個室を予定しています。部屋の広さを約6.6帖+収納付とすることで、おためし別荘としてはもちろん、第I期目の共用部分も使えるため、定住、半定住も可能となります。

お金に使われない社会の縮図『ひと楽園モデルエリア』を

つくりだす、ゆるやかなコミュニティ『ゆるコミ』

(エネルギーの自給自足、食料の半自給自足を相互扶助、わかちあいでつくりだす)

すべてのものごとはつながっています。特に現在の世界や日本では『お金』につかわれて、様々な問題が深刻化しています。その解決策として、貨幣経済の中にながらもマネーゲームからの脱却のためのコミュニティデザイン(ひと楽園)、エコビレッジデザインのプロトタイプをめざしています。そのための2本柱は、ひとつがコミュニティ通貨『ミレ』の活用、もうひとつがエネルギーと食料等の半自給自足のライフスタイルの確立です。

通常のシェアハウスをさらにタイムシェアリングし、体験の機会や、労働をシェアする機会をなるべく多く提供するためのシステムです。さらに定住ハウスとおためし別荘を混在させることで、定住と住みかえの長所をあわせもつコネクハウジングとなり、「くりもとミレニアムシティ」とも相互利用をはかることで、世界初のネットワーク・エコビレッジが現われるわけです。

あさひミレニアムシティでは、建物は自然素材を使ったエコロジーハウスとすることはもちろん、太陽光発電や太陽熱温水システム、ソーラークッカー、風力発電などの自然エネルギーで、エネルギーの自給自足をめざし、有機農業や漁の実践、バイオトイレの堆肥化などで、食料の半自給自足もめざします。また、相互扶助型の住まい方として『ダブルシェアハウス』となる予定です。『ダブルシェアハウス』とは、共用部分をシェアす

このようなインターネット時代の新しいゆるやかなコミュニティ(ゆるコミ)が、大きなムーブメントをつくる大きな力になっていくと考えます。しかももちろん「おしゃれに、粹に、遊び心をもって」です。

